

## 主な収蔵資料

津軽信政を祀る高照神社に、明治10年には初代藩主津軽為信が合祀されました。その際、津軽家や旧藩士たちより武具類をはじめ多くの品々が寄進されたことから、津軽家や弘前藩由来の多くの宝物が高照神社に収蔵されるに至りました。

当館はこれら宝物を中心として、津軽・弘前の歴史・文化を語る上で欠くことのできない数多くの歴史・美術工芸資料を保存管理し、展示公開しています。



重要文化財 太刀 銘友成作  
弘前藩初代藩主津軽為信が豊臣秀吉より拝領し、最後の藩主津軽承昭が高照神社に寄進した古備前の名刀で、精緻な螺鈿の拵を伴います。



市指定有形文化財 信政公葬送図絵巻



市指定有形文化財 紺糸威五枚胴具足兜付



県有形民俗文化財 高照神社奉納額絵馬



市指定有形文化財 貴田稲城氏奉納資料



市指定有形文化財 梨地蒔絵文台・硯箱

これらを含めて  
国指定 2件 2点  
県指定 4件 67点  
市指定 16件 1,207点の  
指定文化財を含め約5,300点の  
資料を収蔵しています。



## 常設展

地域の成り立ちに大きく関わる弘前藩主津軽家や藩士たちの旧蔵資料を中心として展示します。

津軽信政着用具足、津軽領や弘前城下の絵図、弘前藩の歴史年表や津軽家の系図、岩木山を中心とした地形模型などによって弘前藩の歴史像や地域像を紹介します。



## 企画展

高照神社の所蔵品を中心に、弘前藩に関わる歴史資料・美術工芸資料を展示し、江戸時代の弘前を理解できるように企画します。

武具刀剣類を含む美術工芸資料や、絵図・古文書を含む歴史資料などテーマに沿った企画展示を年4回程度開催します。

